

審 議 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等の名称	第3回益田市部活動地域移行推進協議会
開催日時	令和8年2月9日（月）13時30分～15時00分
開催場所	益田市市民学習センター 103 研修室
出席者	<p>[協議会委員] 大賀肇委員、大達隆人委員、矢富實委員、陶山勝委員、豊田邦昭委員、日高慶三委員、並河智之委員、寺戸淳委員 令和8年度新委員（予定）2名</p> <p>[事業担当課] 学校教育課 房野参事、佐藤主任主事 ひとづくり推進課 岡崎課長、山崎課長補佐</p>
議題	<p>(1) 令和9年度以降の休日の学校部活動について（報告） (2) 益田市学校部活動の地域移行に係る基本方針改訂について (3) 今後の地域展開スケジュール等について (4) 指導者バンクの見直し (5) 次年度以降の推進体制について (6) 令和8年度の推進体制について (7) その他</p>
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	1人
審議経過 (学校教育課)	<p>1. 開 会 2. あいさつ ひとづくり推進課 岡崎課長 3. 協 議</p> <p>(1) 令和9年度以降の休日の学校部活動について（報告） ・令和7年11月4日に児童・生徒・保護者、職員宛てに出した文書の内容について益田市中学校長会で検討した結果と、教育委員会への要望が1月20日付の文書として益田市教育委員会 教育長宛てに提出されました。 これまで、土日のうち、どちらか1日は休むということで活動していましたが、大会が日曜日に開催されることが多く、大会の前日の土曜日にも活動をしていたため、月の半分以上の土日は活動していたという実態があります。 令和9年度以降は休日の学校部活動を行わないということが原則となりますが、大会やコンクールは土日（特に日曜日）に開催されており、益田市は合同部活動が多いため全体練習や練習試合が土日しか行うことができないという実態を考慮して、その部分については活動を認めるが、詳細については各学校で定めることとなりました。ただし、活動を縮小していく方向でということは統一されている、というところです。 この対応について、開始時期を運動部は新チーム、文化部は新体制</p>

	<p>発足後（6月～秋）にはじめます。</p> <p>このことについて、学校によっては2月の新入生説明会で説明を行い、新年度の小中学校のPTA総会では教育委員会で作成したパワーポイントの資料を使用し説明を行う予定です。</p> <p>活動の詳細については各学校で定めるため、新年度の体制が整った学校ごとにそれぞれ、児童・生徒や保護者の方へ説明していくこととなります。</p> <p>早い時期に説明することを教育委員会からはお願いしています。</p> <p>また、中学校長会から教育委員会への要望としては①～④の項目があり、①は保護者の負担軽減と、経済格差が経験格差につながらないように対応してほしい、ということ、②は地域クラブや教室等の拡充、または立ち上げがしやすいような支援をしてほしいということ、③は休日の部活動を縮小していきたいので、日曜開催の大会について、土曜日開催にしてほしいということを各競技団体へ教育委員会からも要望してほしい、ということ、④は、益田市に部活動地域展開推進室等を設置し、組織的な対応や、早めの推進、確実な推進を図ってほしい、といった内容となります。</p>
<p>(委員) (学校教育課) (委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からはこのことについて問い合わせ等はないのか。 ・現状、教育委員会にも学校にも特にはないです。 ・学校は令和9年度に向けて、土日は部活動をしないということを念頭に入れて少しずつ縮小していきます。 <p>そもそも、月45時間の時間外を超えている教員が半数を超えている現実の中で、時間外を減らすためには部活動を減らすしかないのですが、大会や合同練習でやむを得ない場合以外については、必ず土日のどちらかは休むということを教員は守って活動している。冬季には土日両方活動しないこともあり、という雰囲気をつくっていくということもしている。</p>
<p>(委員) (学校教育課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の地域展開について、教員の働き方改革という部分からのスタートだとは思いますが、中学生の休日の過ごし方について部活にとられずに土日は自由な活動をしてほしいというところもあると思う。 <p>そうした場合、土日の地域クラブ活動についてどちらかを休養日とする、などの規制をしたりする予定なのだろうか。または、地域クラブの方針に従う、ということになるのだろうか。</p>
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の認定クラブについては、土日のどちらかを1日休養日とするということが国の方針となっています。 <p>ただ、現状ある教室やクラブ活動について、平日活動ができないから休日を中心に活動していく、ということもあるだろうと思います。中学生が活動に関わるからと言って、全ての教室やクラブに指示ができるかという、そういう訳ではないと思う。</p> <p>加えて、活動日数等も子どもたちが地域クラブで活動する場合は、選択する際の条件になってくるだろうと思うので、様々な活動の形があるとよいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校でも令和8年度から吹奏楽部がなくなったりするという

	<p>があり、方針より早い時期の移行となっているが、早めに受け皿を作って活動をひろげていくということについて、方針より早い時期に行ってもよいのか。</p>
(学校教育課) (委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域展開は移行できるものからしていくということで問題はない。 ・教員の負担を減らすということで、平日も外部の指導者に指導をってもらうのが1番いいのでしょうか。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・目指しているところは、平日も地域等の指導者の方がいれば教員ではなく活動していくということが、国、県、市で目指しているところだと思う。けれど、益田市の方針でも、まずは休日の土台を整えることで、平日にスムーズに移行できるのではないかと、なっているため、まずは9年度から土日の部活動はしないということを目指す。ゆくゆくは、平日も指導者のかたに来てもらい、活動を行っていき
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・平日に仕事をしながら学校へ行って部活動を教えたりすることは難しいので、仕事が終わった夜の時間に練習したりするような活動場所へ子供たちが通ってくれれば子供たちの活動場所はたくさんできると思う。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・休日の部活動について、令和6年度のアンケートをみても、休日に新たに地域クラブ等の活動をしたい(してみてもいい)と思っている子どもは1割程度なので、教員の土日は休日なので部活動も休みです、というように考えて、受け皿としての活動場所について周知するということでもいいと思う。
(委員)	<p>今後、平日の部活動を移行する際には、今の既存の時間で活動できる仕組みを考えていかないと、活動者は増えないのではないかと思います。</p>
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の地域展開について、教員の残業時間は減らしていき、そこで子供たちが活動できる場もバランスよく作っていききたいということだと思うので、受け皿となる地域の活動場所についても働き方改革という軸がないとダメなので、ボランティアなどで活動を行うべきではない。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の中には自分の学校から離れてクラブの指導に関わりたいという教員もいる。部活動は、手当等なく指導を行っており、したことがない部活動についても顧問をしたりしている。また、教員の時間外も多い、という現状があるため、部活動の地域展開により改善しようとしている。
(委員)	<p>(2) 益田市学校部活動の地域移行に係る基本方針改訂について (3) 今後の地域展開スケジュール等について</p>
(学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の方針だと令和9年度までの休日に関する計画のみなので、それ以降の計画と、平日の方針について記載が必要です。
(委員)	<p>また、市の方針を策定後に県が方針を策定し、国が新たなガイドラインを示した。その内容について、市の方針へ追加記載等が必要になる。</p>
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町村や県によって、平日の指導、活動場所などは違っている。

<p>(委員)</p>	<p>部活動を完全になくすところがあれば、行政が支援しているところもあり、様々な地域展開の形があるので、益田がどのような形で活動をするのが一番良いのかを考える必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問になりますが、国の方針の前期の部分に、平日について活動の在り方や課題の対応策の検証を行う、とありますが、具体的にどうということなのか、ということと、後期の休日について全部活動で地域展開の実現を目指す、とあるが、休日は学校で部活動を完全に行わないといいうことでよいのか。
<p>(学校教育課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・後期の休日については令和14年度を目指して部活動の地域展開を推進していくという目標なので、絶対に休日の部活動を地域展開をしていないといけないというわけではない。 また前期の平日については、平日の地域展開を将来的に進めるために現状の検証を行っていく、ということだと思ふ。
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県の方針の(オ) これまでどおりの活動が見込める部活動は、移行や体制変更しないこともあり得る、という考え方について、活動が活発で人数も多く、大規模校で教員の体制もきちんとしているところは体制を変更しなくても良いという意味で受け取られるが、益田市が方針に取り入れるなら、平日の小規模校の移動の問題などにより、なかなかスムーズに地域展開できない部活動については部活動を継続して、生徒のフォローにつなげていくという、ニュアンスにしたほうが良いと思ふ。
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県の(オ)の項目について、地域移行が進まなくなり、部活動がそのまま残っていくのではないかと懸念から、反対の意見があった。それでも決定となった理由として、県内で何名かいる部活動指導員がいる部活動については、教員が指導に関わらなくても良いため、部活動としてそのまま存続できる、という学校を想定しているのではないだろうかと思ふ。部活動指導員がいると、子供たちの活動の場と教員の働き方改革どちらも解決できる。
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県の方針(オ)についてですが、平日、土日どちらも練習していて、生徒も来ている、顧問も今の状態のままボランティアで活動できます、となった場合、部活動は存続させてもよいのか。
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・益田市内の小中学校は、益田市の方針に基づいて部活動を行わないといけない。地域の受け皿に関わる時は兼職兼業を申請し、教員とは別の立場となるし、益田市が部活動をしないという方針であればそれに従う必要がある。
<p>(委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者や活動者の報酬についてもこれから考えていかないとけないと思ふ。 平日の活動のサポートについても今後考えていく必要があるが、競技面からみたときに、スポーツの機会を得ることがたくさんできることは良いことだけど、これで本当に益田市から優秀な選手がうまれたりするのだろうかと思ふ。 部活動をなくしますよとなれば、小学校のときにそれぞれがしている地域で受け皿をつくることができるのではないかとと思ふ。地域でクラブが立ち上がって、選手を育てていくとなればよい。

(学校教育課)	<p>中学生が高みを目指して活動できる場所と、先生たちのフォローをしながら活動ができる場所と、同時進行で考えていく必要があると感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの活動場所を確保するという考えたときには、競技志向の子や楽しむことを目的にしている子、どちらもいることを頭に入れながら、色々なニーズに対応できる受け皿づくりを考えていく必要がある。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> 特に小さい学校では今の部活動の種目にとらわれ過ぎずに、実際にやりたい種目をやれるような流れをつくることができると思う。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> 部活動の意義を求めるための活動はどこかに必ずあると思う。だから、どうしてもしたい活動がある場合は、そこへ行ってもよい、地域の活動やボランティアをすることもよい、家族で外出するというのもいいですよ、という時代の流れがあるので、いろんな機会があることはとても大切だと思う。
(学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> 実際、市の方針では7、8年度でまとめたものが活動の計画として記載があるが、6年度の活動計画と変わっていない。なので、今後は8年度や以降の活動計画をしっかりとつくり流れを練ったうえで、来年度の推進協議会で協議することになります。 <p>また、協議にあるスケジュール案については学校とも相談しながら確定させていく必要がありますが、15年度には平日も含めた地域展開をはじめるといことにしています。状況によっては早まるかもしれないし、一部残っているかもしれない。クラブの立ち上げや受け皿づくりを考えていく方々には、今後のスケジュールを示していく必要がある。</p>
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> 具体的にスケジュールを示すことは難しいかもしれないが、流れを頭において、地域で受け皿をつくらうとされている方がおられれば、活動の場が広がっていく。方針などについて周知して、子供たちをみんなで支えていく流れになればいいと思います。
(学校教育課)	<p>(4) 指導者バンクの見直しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者バンクの見直しについてですが、様々な活動に関わろうとしている教員や地域の方等を具体的に把握してリスト作りをしたいということです。地域展開をするにしても、教員の力を活用することはしないとけない。活動を行うことを希望している教員もいるので、把握することは必要になってくるし、同時に希望しない教員は関わらなくてもよいという体制をつくっていく必要がある。 <p>以前行ったアンケートで、休日の部活動がなくなった場合に、兼職兼業やボランティアで活動に参加するという方が33名程度いた。ただ、絶対数として足りない。</p> <p>指導者バンクは顧問に代わって指導をする、という人のリストですが、ハードルが高くて人数が増えない。</p> <p>そのため、顧問と同じ役割を求めるだけではなく、多様なかわり方（週1回活動する、トレーナーとして複数のクラブに関わる、大会の運営に関わる、など）を示して、地域展開に関わっていく方を増</p>

	<p>やしたいと考えています。 なので、現在の指導者バンクをそのまま残してもいいと思うが、別に活動に関わっていただける方のリストをつくることにより、クラブを立ち上げようという人の後押しになればと思っている。</p>
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の方向性の違いなどは問題になると思うので、指導者バンクなどで指導者を探すアイデアを出していただきたいと思う。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者バンクの対象は、益田市の教員だけなのか。益田市以外の市町村で教員をしている人は含まれないのか。
(学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> ・そうです。ただ、他の市町村から地域クラブに指導者としてくる方もいるだろうから、近隣の市町村とも連携をとっていかないといけない。今後、打合せをしていくことを計画している。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・益田市以外で働いている方や、市外に住んでいる方の中にも活動を行うことができる方はたくさんいるので、そういった方まで広げた方が良くと思う。
(学校教育課)	<p>(5) 次年度以降の推進体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケジュール案の、益田市の集中取組期間のところに令和8年度部活動地域展開推進室（仮称）設置の検討を追加している。 山口県の視察や、地域展開セミナーでの話の中で、地域展開を進めていくための推進室が設けられていなければ、推進していくことは難しいというアドバイスがあった。 年々部活動地域展開に関わる業務はふえているため、体制作りをしていくことを検討していけたらと思っている。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーに参加したのですが、部活動地域展開の課題に対して、専属の人を配置して、地域展開の業務に集中しないと、進んでいかないと強く感じました。 なので、体制づくりの検討については強くお願いをしていきたい。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・この議題については、体制を整えて進めていかないと難しいという意見が多いため、検討し進めていただければと思う。
(学校教育課)	<p>(6) 令和8年度の推進協議会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の方は2年の任期ということで任期を終えられる方がいます。 3月の末には来年度の委員が確定できる。 また、来年度の推進協議会は最大5回を予定しています。5回できるかは分からないが、最初の協議会は5月頃の開催になると思う。
(委員)	<p>(7) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定年の年齢があがってきているので何とも言えないが、仕事をリタイヤされた方で、経験者もたくさんおられるので、そういった人材を集めることも一つの方法だと思う。 部活動の移行の指導者という部分で、どこまでのレベルを望んでいるのかが分からないが、企業のCSRという制度で、社会貢献をするという部分があるので、そういったところに話をしていても良いと思う。

	あとは市役所のほうでも、活動者をさがしたりするような制度をつくっていただければよいのではないだろうか。
教育部学校教育課	電話 0856-31-0445